



IFREE アイフリー  
地球内部ダイナミクス領域  
公開シンポジウム

# 地球大変動

—— 世代を超えて伝えたいこと

2012年1月14日(土) 13:00~17:30

申込み制 **参加無料**

建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)

日本列島は、現在の地球で最も激しい変動がおこっている「変動帯」である。そして、その面積に比べて圧倒的に地震・火山活動が密集している。

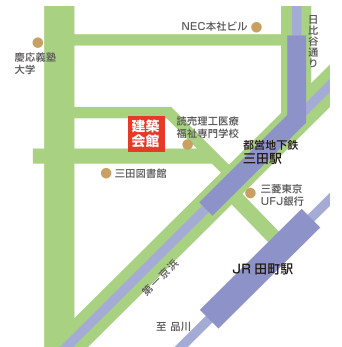
このような変動はなぜ起こるのだろうか？

地球46億年の中で、どのような変動が地球の進化を引き起こしてきたのであろうか？

これから、どのような変動が日本列島で、そして地球で起こるのだろうか？

これから私たち「変動帯に暮らす人々」が、どのような心構えで

地球現象と接すればいいか、参加者とともに考える。



JR 田町駅、都営地下鉄 三田駅(浅草線・三田線) 徒歩3分

- 講演
- 鳥海 光弘 今、1000年規模の地球変動を海から解き明かす
  - 小平 秀一 東北地方太平洋沖地震：海底観測から見てきたその実態
  - 木下 正高 東海・東南海・南海：巨大地震発生への理解に向けて
  - 巽 好幸 なぜ日本列島は、これほどまでに変動するのか？

総合司会 上柳 昌彦 (ニッポン放送アナウンサー)

主催：海洋研究開発機構

後援：IODP Management International, Inc. 日本地球掘削科学コンソーシアム

事前に裏面のFAX申込み、またはWebサイトより参加お申込みください

申込み Web サイト

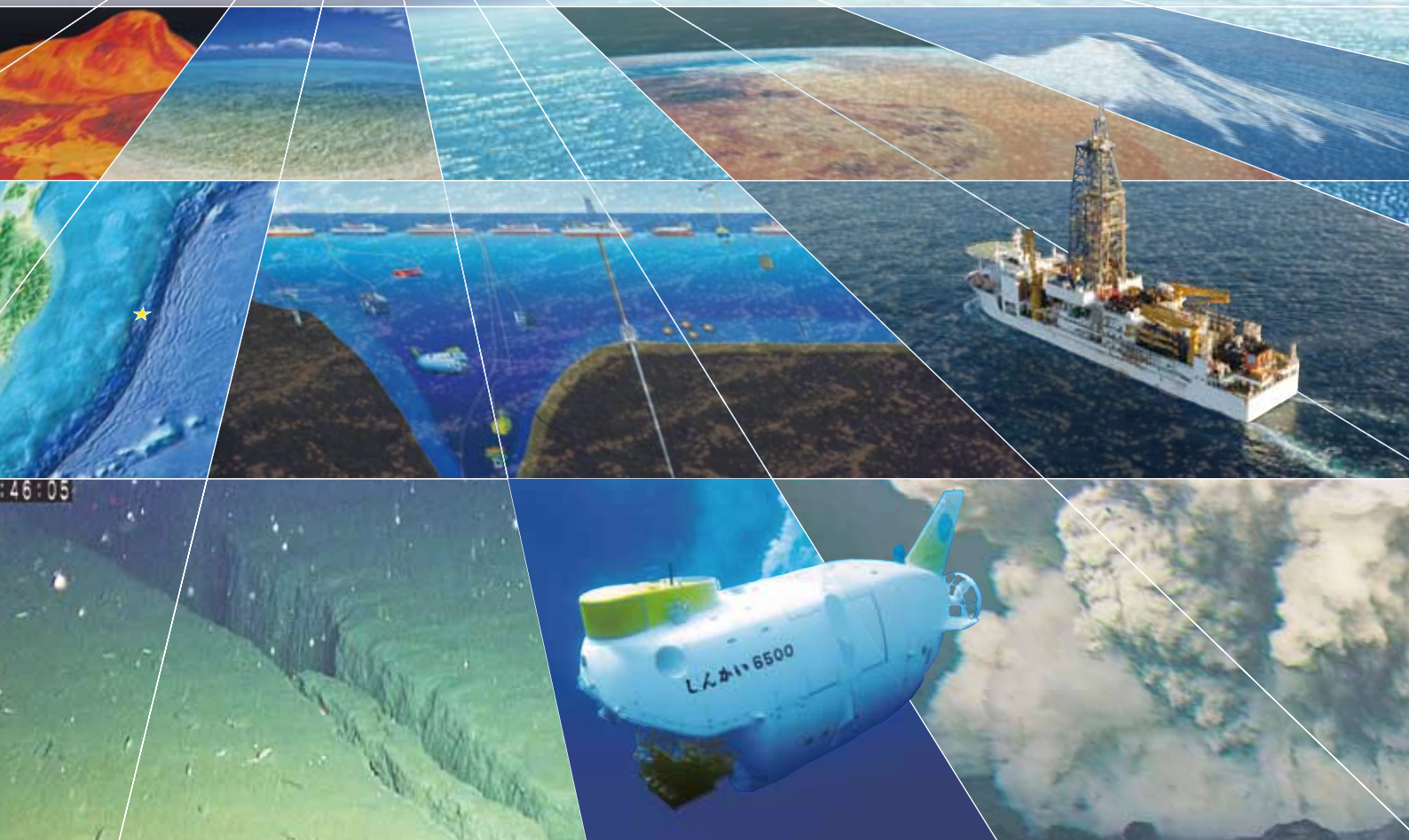
<http://www.jamstec.go.jp/ifree/j/sympo/2011/>

問い合わせ先：海洋研究開発機構 研究支援部

TEL 045-778-5700 FAX 045-778-5497

E-mail : ifree-sympo2011@jamstec.go.jp

地震・火山噴火・環境変動の原因や、大陸のでき方など、IFREE は地球の謎に海から挑みます。



## プログラム

13:00~13:20

鳥海 光弘 (地球内部ダイナミクス領域 領域長)



## 今、1000年規模の地球変動を海から解き明かす

2011年3月、日本列島がそして世界が震撼した。大地の激烈な変動がこれほどの規模であることを世界は初めて知ったかのように。地球が過去1億年の間、大規模に変動してきたことはもはや周知である。その大規模変動とこの超巨大地震とを探る。

13:20~14:10

小平 秀一 (地球内部ダイナミクス領域 海洋プレート活動研究プログラム)



## 東北地方太平洋沖地震：海底観測から見えてきたその実態

私たちは3月11日の地震発生直後から震源域での深海調査を進めており、その結果、宮城沖の深海底では陸側プレートが南東~東南東方向に約50m移動する大変動があったことを明らかにしてきた。本講演では、最新の調査結果も交え、徐々に明らかにされつつある東北地方太平洋沖地震の実態を報告したい。

14:10~14:20

休憩

14:20~15:10

木下 正高 (地球内部ダイナミクス領域 固体地球動的過程研究プログラム)



## 東海・東南海・南海：巨大地震発生の理解に向けて

30年以内に60~70%という高確率で発生が予測される東南海地震。震源の位置は把握されているが、その起こり方を知るためには、地震断層の物質や状態を掘削により手に取って調べる必要がある。東北地震のような変動が西南日本でも起こるのか、これまでに分かったことから考える。

15:10~16:00

巽 好幸 (地球内部ダイナミクス領域 地球内部物質循環研究プログラム)



## なぜ日本列島は、これほどまでに変動するのか？

地球表面の1%にも満たない日本列島に、地球上の地震と火山の1割以上が密集する。こんなにも変動するのは、地球中心が6000℃もの高温であり、地球が水惑星であるからだ。つまり日本列島の変動は、地球が地球であるが故の現象だ。私たちは変動と共に生きて行く宿命にある。

16:00~16:20

休憩・ポスター発表

16:20~17:20

パネルディスカッション 進行役：上柳昌彦 パネラー：全講演者

17:20~17:30

閉会挨拶 白山 義久 (海洋研究開発機構 理事)

会場ロビーにて最新の研究成果パネル展示を行います

総合司会

上柳 昌彦

(ニッポン放送アナウンサー)

IFREE公開シンポジウム  
参加申込書

FAX 045-778-5497

海洋研究開発機構 研究支援部 行き

必要事項をご記入の上、上記番号にお送りください。ご記入いただいた電子メールアドレスに受講票を返送いたしますので当日お持ちください。FAXでの返送をご希望の場合は、下記欄にチェックの上、必ずFAX番号をご記入ください。

フリガナ ご氏名	参加人数(申込者を含む) 人	ご所属
ご住所 〒		
E-mail アドレス	@	
電話番号	FAX 番号	<input type="checkbox"/> FAXでの返送を希望

下記WEBサイトからもお申込みいただけます

<http://www.jamstec.go.jp/ifree/j/sympo/2011/>

[個人情報の取扱いについて] お預かりする個人情報は、当機構の個人情報保護管理規程等に従い適切に管理し、本シンポジウムに関するご案内・お問い合わせのためのみに使用します。